

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑 長倉	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	1人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 評価前に自己評価や事業所評価について理解を深める為の勉強会を行う。 改善計画の取り組みや進み具合を職場内ミーティングを利用し職員間で確認、共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に説明はしていたが全体での勉強会が開催できなかった。 取り組みの進捗の共有が途中で中断してしまったものもあり一部の職員だけが把握している項目があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の内容や資料、議事録から「課題が明確になりその事かの改善計画を立て実施し効果があったか」の判断がつきません。集まる事ができないからこそ様子が分かるような会議資料の工夫が必要だと思います。 改善策はもっと具体的な内容の方が評価しやすく達成度が分かりやすく課題も抽出しやすいと思います。「できていない点」をできるようにするための改善計画が分かり易いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会からサービス評価班を作り全体で課題解決していく体制を作る。 項目ごとに課題や目標を明確にしできていない事をできるようにする取り組みを具体的に示す。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 苑周辺の草取りや花壇作りは引き続き行い、外からもきれいな環境作りを継続し行う。 感染対策を徹底しご利用者様に安心して過ごせる環境を提供する。 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の取り組みを継続し職員のサービス向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 草取りや花壇は継続して行っており、シーズンを超えた花壇の手入れも習慣化して行っている。 毎日、県内や市内の感染状況を確認し注意喚起していた。手洗い・うがい、消毒、換気等感染予防対策の徹底し行っていた。 各担当職員中心に役割分担し苑内の清潔に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を実施した結果を教えてください。 改善計画を実施する事でどのような結果があると考えていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策の徹底は引き続き行い、ご利用者様、職員の感染防止に努める。 苑内の整理整頓を強化し清潔な状態を保ちご利用者様が気持ちよく過ごせる環境にする。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行に留意しながら今年度同様、クリーン作戦には引き続き参加させていただく。 広報紙の充実を図る為、回覧方法やどのような紙面にするか町内会長さんや近隣住民にアンケートを用いてご意見をいただく 	<ul style="list-style-type: none"> 町内のクリーン作戦や草取りには参加できていた。コロナ禍で行事等が中止となり地域との交流が減っている中で唯一参加でき町内の美化活動に貢献できた。 委員会の引継ぎがスムーズに行えず、広報紙の作成が滞ってしまった。アンケートの実施も行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方からの相談はありましたか。いつでも対応できる体制ですか。 広報紙の充実を図る為、回覧方法やどのような紙面にするか町内会長さんや近隣住民にアンケートを用いてご意見を頂いた結果を教えてください。 クリーン作戦に参加する事で、どのような効果がありましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 例年同様、町内のクリーン作戦、草取りに参加させていただく。また、行事等の案内があれば積極的に参加させていただく。 雑巾プロジェクトを継続し、近隣の学校に雑巾を寄付する活動を通し、地域交流やご利用者様のやりがいに繋げていく。 苑の取り組み内容やご利用者様の様子が分かる広報紙を作成し回覧板を通して地域の方へ発信する。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度採用職員や中途採用の職員にも事業所と地域の関わりについての理解と地域資源についての研修を行う。 ・ご利用様が地域の中でどのような関わりがあるか、なじみのお店やお茶のみ仲間がいるのか家族、近隣の方々に情報収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で思うような行動ができなかったが、新卒職員や中途職員にも地域との関わりについて説明を行い理解を深めた。 ・新規利用時に認知症状が強く自宅から1人で外に出てしまい警察に保護される事が度々あった方の地域にお住いの民生委員さんが相談の話が出た時から関わってくれ情報を共有し連携しながら在宅生活を支えていく事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、町内会としてのイベントも限定され思うように参加いただけなくてすみません。クリーン作戦、草取りありがとうございます。 ・予定していた研修会は実施しましたか。結果を教えてください。 ・2点目の改善計画ではどんな情報が得られましたか。その情報を活用した取り組みの1例を紹介してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、担当ご利用者様の生活歴や地域、地域との関わりについてご家族様から情報を集める。 ・月1回のカンファレンス開催時に対象者の地域との関わりや地域資源について話し合い在宅生活を支える方法が他にもあるか検討する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度の運営推進会議はコロナ禍でも感染対策を行った上で会場の確保をし開催できるようにする。 ・事業所の取組みや地域との関わりについて運営推進会議でご意見やアドバイスを頂き事業所の運営に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策を行い実施する計画をしていたが市内の感染状況拡大に伴い、今年度も書面開催となった。 ・頂いたご意見やアドバイスは事業所の職員にも共有し改善していくように働きかけたが理解が足りなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まったの会議がなくとも都度会議資料を頂いている。意見等があれば聞いている。 ・会議はやればいいということではありません。目的があり地域密着型サービスに位置付けられたものです。その趣旨を管理者だけでなく職員全体が理解しより効果的な会議にしていけると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組み内容や事故報告等の報告を分かり易く具体的なものにし書面開催であっても伝わり易いものにする。 ・月例会議やミーティングを通じて運営推進会議で頂いたご意見やアドバイスを職員へ周知し職員全体で改善に取り組む。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアルのご利用者様対応一覧表は登録ご利用者様変更ごとに更新し常に新しい情報をファイリングする。 ・感染対策をした中で町内の避難訓練の参加や苑での防災訓練の参加をしていただけないか提案し計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月更新し職員の目の届くところにファイルしいつでも確認できるようにしている。また、避難経路や場所の見直しを行い優先順位をつけて3箇所提示した。 ・コロナ禍で町内の避難訓練の参加や苑での避難訓練の参加は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか苑の避難訓練ご案内頂きましたが参加できずすみませんでした。町内会もコロナ禍でR3年は班長の連絡網、要支援者(5名)への主に電話確認のみ実施。 ・どの項目でも「いいえ」「わからない」が多くなっています。コロナ禍でもサービスの様子が分かるような伝え方や取り組み状況の報告があると良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策マニュアル(ご利用者様対応一覧、避難経路図、緊急連絡網、防災体制一覧等)を常に新しい情報に更新しファイルを目に置きやすくいつでも確認できる場所に設置する。 ・運営推進会議で使用する防災災害訓練の様子や取組みの報告は分かり易く状況が伝わるようする。